

湿布薬の処方枚数について

4月の診療報酬改定により
湿布薬は1処方につき、63枚
 (7枚入りの場合**9袋**)までとなります

(現行 1処方につき70枚
 (7枚入りの場合10袋)まで)



『診療報酬改定とは』
 医療機関に医療行為の対価として支払われる費用は「診療報酬」と呼ばれ、厚生労働大臣によって定められています。2年に1回見直され、令和4年4月はその改定時期にあたります。(介護保険は3年に1回改定)

2022年4月1日～		月	火	水	木	金
内科	一診 (予約制)	中田	谷口	井川	谷口	井川
	二診 (予約制)	佐藤	高見	吉田	佐藤	高見
	三診 (予約なし)	吉田	渡邊	谷口	鳥大	中田
	発熱外来 (14-16時)	佐藤	中田	吉田	谷口	井川
	糖尿病外来					門脇
内視鏡・エコー (予約制)			吉田 渡邊	中田		
禁煙外来 (予約制)					高見	
物忘れ外来 (予約制)					高見	
外科		鳥大 平岡	平岡	鳥大 平岡	平岡	平岡
整形外科 (予約制)						鳥大
小児科		鳥大			鳥大	
		第3火曜(PM)は小児循環器				
耳鼻咽喉科		鳥大			鳥大	
眼科 (予約制)				鳥大		鳥大
皮膚科			池原			

赤字の所が変更箇所です

- ・診療 9:00～12:00(開扉7:30、受付8:00～11:30)
- ・整形外科、眼科は予約制になっていますので、当日受診希望の方は、ご来院前に電話をお願いします。
- ・**発熱やかぜ症状、嘔吐等がある方は必ず事前に電話でご相談ください。**
- ・新型コロナウイルス感染症対策のため病棟への面会は原則禁止ですが、オンライン面会などの方法がありますので、ご希望の方は病院看護師に電話でご相談ください。

日南町国民健康保険
日南病院

〒689-5211
 鳥取県日野郡日南町生山511-7
 TEL: 0859-82-1235
 FAX: 0859-82-1341
 HP: <https://nichinan-hospital.jp/>



病院に対するご意見ご要望、または広報誌に対するご意見など、お待ちしております。



⇒入力フォーム



日南病院LINE
 公式アカウント



休診の連絡や予防接種などいち早く情報発信します。



町は大きなホスピタル

日南病院だより

第18号

2022年4月



小さな病院の外科往診



打ち身、切り傷、交通事故、その他なんでも診察します。

現在は1名の常勤医と鳥取大学医学部附属病院の第一外科・整形外科から派遣される医師が、外科・整形外科全般の診察をしています。

毎週水曜日の午後には、外科医師の訪問診療・往診を実施しています。



外科医師と看護師で患者さまのご自宅等を訪問し、内科領域ではない専門的な診察が可能です。

床ずれなどをお持ちの患者さまにとって、より良い診療を提供できるよう努めています。

日南病院に受診してよかったと思っただけのよう暖かい診療を心がけています。

ご近所サポーターの取り組み報告



この取り組みは、感染予防に対応したWEB研修を受講した方々が、ご近所同士声を掛け合って介護予防を行うことを目的とした事業です。



日南病院
リハビリテーション科
科長 田辺 大起
遠藤 隼輝

ご近所サポーターのイメージ

● 回覧板のついでに



ご近所サポーター

〇〇さん、
なにか困ってないかな。

● ご近所付き合いの中で

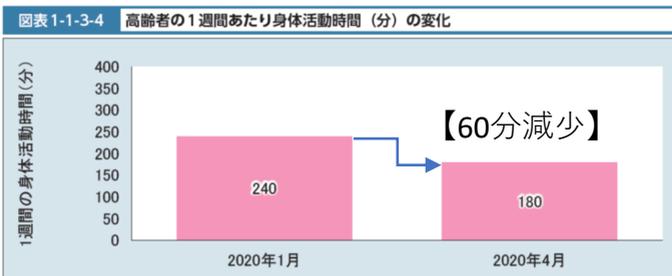


ご近所サポーター

足が弱ってきたわ。
いい運動がないかしら。

この前、パンフレット
もらったから、今度も
持ってこようか。

全国的にみても一週間当たりの身体活動量が減少していることが令和3年度の厚生労働白書でも報告され、不活動による虚弱（フレイル）予防が喫緊の課題として議論されています。



上の図は、厚生労働白書より

事業の背景

2020年の年明けから始まった新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大は現在に至るまで収束のめどは立たず、感染予防が国を挙げての重要事項となっています。

その中で、各種イベントや外出の自粛など我々の生活にも大きな影響が生じています。日南町においても百歳体操の中止など集合して交流する機会が減少しています。



今回の取り組み

この事業は、新しい生活様式の中で近隣住民による訪問型介護予防等を推進する事業です。

全国国民健康保険診療施設協議会が福祉医療機構の助成を受けて、鳥取県の日南病院を含む全国4か所の病院を連携施設としてモデル事業を行いました。

地域セミナー（養成講座）

当地域では、ご近所サポーター養成講座として中央1会場と3つの小地域、計4会場（以下サテライト）に分散して三蜜を避けるように実施しました。

サテライトの設定は地域振興センター（まちづくり協議会が入っている旧小学校や旧公民館）を中心として、その周辺に住む方が集まって受講する形をとりました。



運動について



転倒予防の環境整備

講座はあらかじめネットで視聴できるように動画にまとめるなど教材の工夫も行いました。上記のQRコードはその一部です。運動と転倒予防の環境整備についてQRコードを読み込んでいただければYouTubeでご覧いただけます。

ご近所サポーターの活動

たくさんの方にご賛同いただき、合計で71名の参加者がありました。参加者の平均年齢69.7歳で、最年少は59歳から最高齢は95歳まで幅広い世代の方にご参加いただきました。

今回の講座は、虚弱と介護予防の関係を解説し、①感染対策、②訪問の工夫、③運動について、④転倒予防の環境づくり、⑤食事・栄養、⑥口腔機能向上、⑦ものわすれ、⑧閉じこもり・うつの講座を受講いただきました。特に食事の項目は反響も大きく関心の高さがうかがえました。意見交換の中でも10食品群チェック表など活用しやすいという声が多くありました。

地域のなかには、「会話することを忘れたようだ」「さみしい」といわれる方もあるようで、ご近所サポーターさんからは、『話を聞くだけでも大切だと思った』との意見もありました。普段のご近所付き合いが改めて大事であると感じていただきました。

最後にこの取り組みにご賛同いただいた参加者の皆様、地域振興センター及び民生児童委員、関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

来年度も地域包括支援センターのご協力をいただきながら食事や栄養を切り口に継続していきたいと考えています。